

学校教育目標	共生～仲間とともに高め合える人～					
	○自ら課題を解決し、学んだことを活用する力を育てます。(知) ○自ら進んで考え、判断し、主体的に発信・行動する力を育てます。(体・開) ○多様な価値観を認め、尊重し、他者と協働して社会を創る力を育てます。(徳・公)					
学校概要	創立 40 周年	学校長	土信田 園子	副校長	長谷川 秀人	2 学期制
	一般学級: 7	個別支援学級: 2	児童生徒数: 217 人			
主な関係校: 並木第四小学校 並木中央小学校 富岡東中学校 並木第一小学校						

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○主体的に学び続ける意欲 ○豊かなコミュニケーション能力 ○社会に進んで参画しようとする力	並木中学校 富岡東中学校 並木第一小 並木中央小 並木第四小	「場に応じた心地よいあいさつをし、相手(他者)と円滑なコミュニケーションを図れる子」 ・「あいさつ運動」を通して、児童生徒の目を地域に向け、地域と自分とのコミュニケーションについて考える機会を設ける。 ・授業参観、乗り入れ授業等を行うことによって、児童生徒の実態を把握し、円滑なコミュニケーションを行うことができるよう支援していく。

中期取組目標	○重層的・組織的指導により、教職員全員で一人ひとりの生徒を大切にする学校を目指します。 ・生徒の主体的に学ぶ姿勢を育てる授業を実践します。 ・特別支援教育の視点を大切に教育活動を展開し、個に応じた指導を充実します。 ・生徒の課題に応じた適切な支援を行うための情報共有や組織的な支援を推進します。 ・生徒の学校や地域行事への積極的参画を促進し、人と人とが関わる機会を増やします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①全ての教科等で、課題解決にむけての目標立てと振り返りを実施し、学んだ知識や技能を発展させながら協働して学ぶことができる授業作りを行う。②生徒が主体的・計画的に学び続ける授業実践のために、教科会の充実と授業研修会等を通して、授業改善と授業力向上を目指す。
担当 学習指導部	
豊かな心	①教科書や道徳教材を計画的に活用し、他者や自己を理解しようとする態度を育てる。②主体的に人と関わり、円滑なコミュニケーションを図ることができる生徒を育成する。③道徳科のローテーション授業を行い、授業力の向上に努める。
担当 学習指導部	
健やかな体	①授業や行事を通して、仲間と共に協力しながら、課題解決に向けて取り組む態度を育てる。②基本的生活習慣の定着に向けて教科と連携し、健康教育の充実を図る。③自己の心身の健康について考え、判断できる態度を育てる。
担当 保健指導部	
キャリア教育	①「自分作りパスポート」の作成や振り返りを行い、自己理解を深めたり、目標を立て、見通しをもって活動したりする態度を育てる。②進路学習や職場体験、生徒会活動を通じ、自分の将来の生き方や働くことの意義、協働することの大切さについて考える態度を育てる。
担当 特活指導部	
生徒指導	①日頃から生徒の様子をよく観察しながらコミュニケーションをとり、生徒の話に耳を傾け、生徒一人ひとりに寄り添った指導に組織的に取り組む。 ②生徒から聴き取った情報を職員全体で共有することで、組織的に生徒指導に取り組む。
担当 生徒指導部	
特別支援教育 人権教育	①生徒個々の特性や状況に応じた指導、支援を共通理解の基に可能な範囲で行う。②特別な支援を必要とする生徒一人ひとりを丁寧に見取り、生徒の困り感や保護者の思いを大切にしながら、その手立てを構築し、教職員と共通理解をするとともに、外部関係機関と連携する。
担当 特別支援・学習	
コミュニケーション能力	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義を理解するとともに、よりよい生活を実現するために日常の向上を図ろうとする態度を養う。
担当 特活指導部	
地域連携	①学校行事、ボランティア、懇談会等を通して、より開かれた学校づくりの実現を目指す。②地域の学校として、地域主催の行事やボランティア活動に積極的に参画する。
担当 渉外部	
いじめへの対応	①年3回の教育相談や毎月の生活アンケートを活用し、よりよい学級・学年風土を醸成する。 ②定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、記録を作成・保管し、案件の経過確認を丁寧に行い、再発防止に努める。また、研修を通して、職員がいじめに対する感度を高める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①校内OJTを活用し、日常的な指導・支援を行うとともに、校内研修の充実に努める。②学校規模に応じた教育課程の適正な実現に向けて、検討、取組を進める。③学校運営組織や行事を目的・内容・費用などあらゆる点から見直し、負担軽減を図る。
担当 教務部	